



# Prevention and treatment of diaper dermatitis

Ulrike Blume-Peytavi

*Pediatric Dermatology. 2018;35:s19-s23*

. おむつかぶれは生後から乳児が罹患し、保護者が悩む最も一般的な皮膚病の一つです。

効果的な予防と治療についての質問がよくあります。

多くの場合、一般的な皮膚ケアが健康的な皮膚バリアを保ちおむつかぶれを予防または軽減します。

バリア機能のある保湿剤の使用とおむつテクノロジーの進歩が乳児のデリケートな皮膚の保湿を保ち、刺激物質を遠ざけることに役立っています。

**この論文はおむつかぶれについて保護者から寄せられる質問の背景を述べるとともにおむつかぶれを効果的に予防・治療する方法を議論しています。**

この論文の総まとめが表になっていますので、翻訳して載せました。

表 悪化要因忌避によるおむつかぶれ予防

原因となる要因	影響	介入
長期の過剰な湿気 摩擦		頻繁におむつの交換をする 吸収性に優れたおむつ
・アルカリ性尿 ・便	pHバランスの障害 細菌の過剰繁殖 便中リパーゼの活性化 内因性外因性プロテアーゼ 皮膚の浸軟 透過性の増加 さらなるバリアの破壊	吸収性に優れたおむつ ウェットティッシュまたは脱脂綿と水 局所への保湿剤 教育
石けんと洗剤による洗淨		石けんと洗剤を使用しない ウェットティッシュまたは脱脂綿と水による洗淨 保湿剤塗布